

景百業企

「3・11」の東日本大震災から早くも9カ月。産業界は今年、この未曾有の大震災に始まり、急激な円高、欧州の金融不安、タイの洪水など厳しい経営課題を矢継ぎ早に突きつけられた。だが、日本企業もただ手をこまねてはいない。新規市場の開拓、生産体制の見直し、意欲的な新製品・サービス開発、安心・安全・環境対策の徹底的な追求など、様々な戦略で逞しく荒波に立ち向かう企業が少なくない。日本経済を浮上させる原動力となる各企業の奮闘ぶりを百景としてまとめた。

**医療・介護から一般向けまで
事業拡大に臨む業界トップ企業**

1947年の創業以来、医療・介護ベッドをはじめ関連製品の製造・販売を手がけてきたパラマウントベッド。使いやすさと安全性を兼ね備えた高性能・高品質な製品を提供することで、幅広い指針を得てきた。近年では、ベッドなどの点検・メンテナンス事業や、福祉用具のレンタル卸事業などに参入。さらに「一般消費者向け製品」にも注力し、寝返りがしやすいマットレス「スマートスリープ アクア」を11月に発売した。同社は日本水泳連盟の競泳日本代表チーム「トビオジャパン（愛称）」のオフィシャルスポンサーとして、同製品で選手の睡眠をサポートしている。

他方、10月からパラマウントベッドホールディングス株式会社として持株会社体制に移行し、総合力を活かしたグループ戦略、さらに発展著しいアジア・中東地域等へのグローバル販売も加速させている。

as human, for human
PARAMOUNT BED HOLDINGS

パラマウントベッドホールディングス株式会社

代表取締役社長 木村 恭介

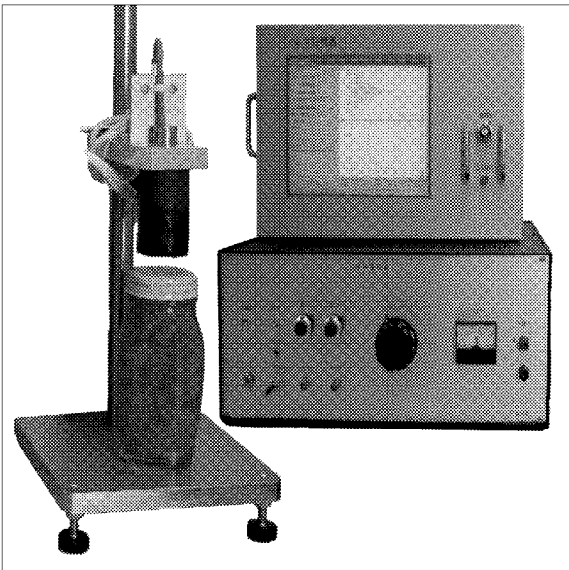
〒136-8671 東京都江東区東砂2-14-5
電話 03(3648)1100(代表)

<http://www.paramountbed-hd.co.jp>

**段ボールと缶詰を非破壊検査
打検工程 生産ライン組み込みへ**

缶詰や瓶詰のふたや底を、棒の先に小さな球を付けた打検棒で叩き、音と手に伝わる振動で容器の膨張や漏れなどの不良を判別する「打検」。ディ・アイ・エンジニアリングはこの打検工程を非破壊・非接触でできる「打検機」を開発、受注を始めた。出荷用に複数の缶詰を段ボール箱に箱詰めした状態での非接触検査も可能で、缶詰の生産ラインに打検工程を組み込むこともできる。

缶詰や瓶詰の金属部分を振動させて発生する音波を解析し、容器や内容物の量や質を判定する仕組み。容器の内圧だけでなく、損傷の検出もできる。容器に応じた解析パラメーターの詳細設定も可能だ。ケースごと検査する機種、インライン用、抜き取り確認用に1容器検査する3種がある。国内・国際特許を出願中。



ディ・アイ・エンジニアリング株式会社

代表取締役社長 山崎 洋

〒130-0003 東京都墨田区横川3-7-10 SGビル
電話 03(3625)1501

<http://www.diec.co.jp>

**音声認識技術の
リーディングカンパニー**

株式会社アドバンスト・メディアは、音声認識技術のリーディングカンパニーとして、1997年の創業以来「人と機械のインターフェースの向上」に取り組んでいる。独自の音声認識技術 Amivoice により、声で文章入力などができるソリューションを提供しており、声の事前の登録の必要がなく、誰でもすぐに音声入力できる点がユーザーから評価されている。

医療・教育およびエンターテインメント・議事録・コールセンター・ビジネスソリューションの分野で主に利用されており、例えば医療分野においては導入施設が3629を超えるなど（2011年9月末現在）、医療診断の効率化に貢献し、その導入効果が高く評価されている。



株式会社アドバンスト・メディア

代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4
サンシャインシティ文化会館6F 電話 03(5958)1031

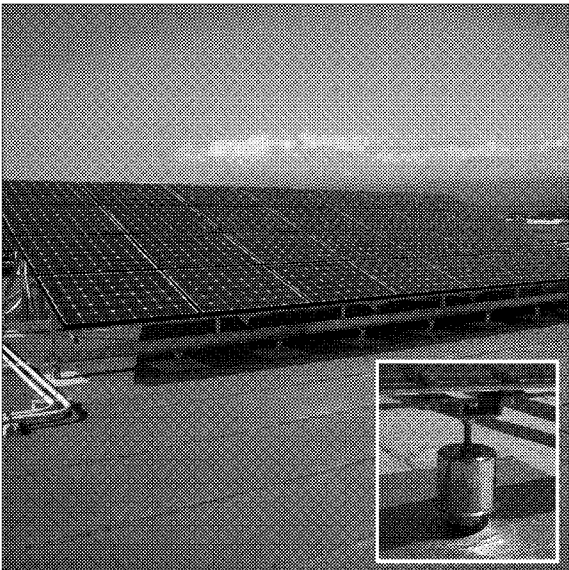
<http://www.advanced-media.co.jp>

**需要堅調な金属製アンカー
屋上設備の設置が容易に**

サンコーテクノは、コンクリート陸屋根に設置する太陽光発電の架台を設置するのに適した「あと基礎アンカー」を2010年から販売し、堅調な需要が続いている。同製品はアンカー自体が基礎部となるため、コンクリートスラブに直接固定できるのが特長。従来工法のようなコンクリート基礎の設置が不要となり、工程・工期の短縮につながるを好評だ。

重量も1個約2kgと軽く、建物の固定荷重を50分の1〜80分の1に軽減できる利点もある。また同社製品「テクノパネル工法（屋上外断熱防水工法）」と組み合わせれば、屋上の外断熱・防水処理の作業を効率的に済ませ、現場面でも効率を發揮できるようにした。

同製品は太陽光発電台のほか、各種設備機器の取り付けにも対応でき、さらなる用途拡大にも注目が集まる。



サンコーテクノ株式会社

代表取締役社長 洞下 英人

〒270-0114 千葉県流山市東初石6-183-1
電話 04(7178)5535

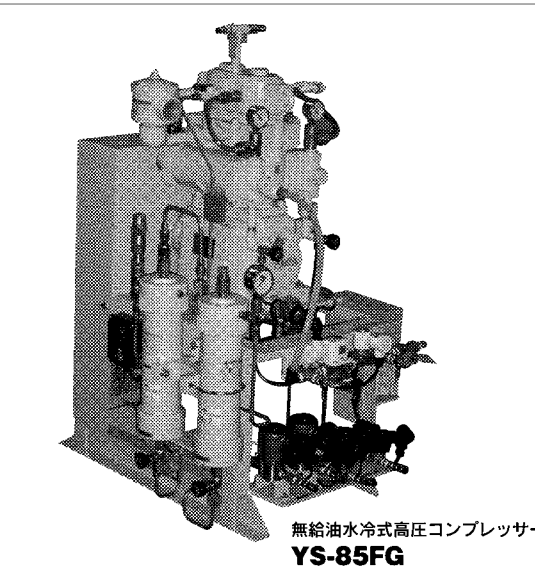
<http://www.sanko-techno.co.jp>

**コンプレッサーのスペシャリスト
東日本大震災の被災地でも活躍**

東亜潜水機は潜水服からエアタンク、周辺機器までを製造する潜水機器の総合メーカーであると同時に、潜水機器に空気を送るコンプレッサー技術に応用した産業用高圧コンプレッサーも手がける。

同社の高圧コンプレッサーは潜水用のほか消防救助用にも使われ、最近では救急救助で使うポンプに空気を充填する呼吸器用高圧コンプレッサー17台を航空自衛隊に納入。さらに東日本大震災で津波に襲われた漁港のがれき処理に携わるダイバーにも使われるなど、製品の信頼性には定評がある。

一方、産業用高圧コンプレッサーは自動車の油圧システムでの漏れやエアコンの冷媒漏れを確認する試験用に使われ、高い評価を受けており、まさにコンプレッサーのスペシャリストと呼べる存在だ。



東亜潜水機株式会社 東京工場

代表取締役 佐野 弘幸

〒116-0003 東京都荒川区南千住4-1-9
電話 03(3803)2253(代表)

<http://www.toa-diving.co.jp>